

第3次計画指標数値に関わる各種調査

資料7

【第3次計画数値指標】

No.	指標	対象	集計方法等	数値調査方法	
1 えらぶ					
1	「食(食事や食習慣)」に関心を持っている市民の割合	20歳以上	「関心がある」 「どちらかと言えば関心がある」	①	問7
2	生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や、減塩、野菜の摂取などに気をつけた食生活を実践している市民の割合	20歳以上	「いつも気をつけて実践している」 「気をつけて実践している」		問14
3	身近な場所でとれた食材を選ぶ市民の割合	20歳以上	「いつも選ぶようにしている」 「なるべく選ぶようにしている」		問12
4	食べ物を無駄にしないよう行動している市民の割合	20歳以上	何らかの行動をしている		問9
5	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断することができる市民の割合	20歳以上 20歳代・30歳代	「いつも判断している」 「判断している」	③	問12
2 つくる					
6	学校給食における地場産物を使用する割合(食材数ベース)	市内産	単独調理場、共同調理場における市内産農林水産物の使用回数を集計	「地場農林水産物の年間使用食品数調査」(H31年4月～R2年2月)	
7	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法が大切だと思う市民の割合	20歳以上	「大切だと思う」	①	問10
8	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを受け継いでいる市民の割合	20歳以上	「受け継いでいる」		問11
		<参考>受け継ぎ、伝えている 20歳代・30歳代	「受け継いでいる」かつ「伝えている」 「受け継いでいる」		
9	新潟市食育マスター派遣事業の実施回数	実施回数	-	R1年より紹介制度へ制度改正	
10	拠点施設等における食育の実践を促す事業の実施回数	実施回数	-	食育花育センターの料理教室実施数	
3 たべる					
11	主食・主菜・副菜のそろった食事をしている市民の割合	20歳以上 20歳代・30歳代	1日2回以上	②	問6
12	ゆっくりよく噛んで味わって食べる市民の割合	20歳以上	「ゆっくりよく噛んで食べている」 「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」	①	問21
13	朝食を欠食する市民の割合	20歳代・30歳代	「ほとんど食べない」 「週に1～2回食べる」	②	問8
		小・中学生	学校へ行く前に朝食をとるか 「とらないことが多い」 「全く、ほとんどとらない」	④	問1
14	「共食」が大切だと思う市民の割合	20歳以上	「大切だと思う」	①	問17
15	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	20歳以上	1週間の間に朝食または夕食を家族と一緒に食べた回数		問18
4 育てる					
16	農林漁業体験を経験した市民(世帯)の割合の増加	-	自身や家族の中に農林漁業体験に参加したことのある人が「いる」	①	問50
17	農業体験学習を実施している小学校の割合	市立小学校	-	小学校農業体験学習実績	
18	食育の推進に関わるボランティアの数(新潟市食育マスター)	食育マスター登録数	-	登録者数	
再	19	新潟市食育マスター派遣事業の実施回数	実施回数	-	R1年より紹介制度へ制度改正
再	20	拠点施設等における食育の実践を促す事業の実施回数	実施回数	-	食育花育センターの料理教室実施回数

【指標評価に関わる調査等】

	調査名	所管課	対 象
①	平成30年度食育・健康づくりに関する市民アンケート調査(H30年12月)	保健所健康増進課	20歳以上の市民3,000人(無作為抽出)
②	令和元年度新潟市民の健康づくりに関する調査報告書(R1年9月)	保健所健康増進課	20歳以上の市民3,000人(無作為抽出)
③	第46回市政世論調査(R1年7月)	保健所食の安全推進課	18歳以上の市民4,000人(層化二段系統抽出)
④	令和元年度新潟市生活・学習意識調査(R1年11月)	新潟市立総合教育センター	市内の小中学校、中等教育学校の全児童・生徒 (小学校1、2年生は希望する学校のみ)

【参考:朝食欠食に関する国の指標および評価に関わる調査等】

指 標	対 象	集計方法等	数値調査方法	
朝食を欠食する子供の割合	対象:小学校6学年	朝食を毎日食べているか 「あまりしていない」 「全くしていない」	⑤	問1
朝食を欠食する若い世代の割合	20歳代・30歳代	「ほとんど食べない」 「週に2~3日食べる」	⑥	問5

	調査名	所管課	対 象
⑤	平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査(H31年4月)	国立教育政策研究所	全国の小学校6学年および中学校3学年
⑥	令和元年度食育に関する意識調査(R1年10月)	農林水産省	20歳以上の国民3,000人聞き取り調査